

建学の精神

「教育研究上の目的・使命」

第一薬科大学は、「個性の伸展による人生練磨」を建学の精神として掲げ、日本国憲法、教育基本法及び学校教育法の規定するところに従い、広く医療に関する専門的な知識・技能・態度を授け、実践的な能力を有する医療人を育成することを目的とし、医療福祉の向上、学術の深化に貢献することを使命としています。

「第一」とは

大学名に冠している「第一」は、仏教哲学である「第一義諦（絶対的な真理、真如実相）」の「第一」に由来しています。人には、それぞれ生来その人にしかない特長・長所、美点や特質等が賦与されています。これは、その人らしさを特徴づける個性であり、他と区別されるべき「第一義的特性」と捉えています。その人に内在する個性を教育により引き出し、永遠に輝かせしめる第一義的特性とするとの創設者の思いから、校名に「第一」が付けられています。

「個性の伸展による人生練磨」

個性とは、仏教哲学の謂う“第一義諦”であり、それ自身が真実であり、最も優れて尊い価値を有するものを意味しています。大学名の「第一」の由来となっています。一人一人の長所や美点、得意な面など生涯にかけて個性の伸展を図る教育は患者一人一人の個性に対応するテーラーメイド医療の精神にも通じています。

看護学部

1 看護学部の教育理念・目的

(1) 教育理念

本学の建学の精神である「個性の伸展による人生練磨」を基本とし、看護学部は高い倫理観と惻隱の情を持った豊かな人間性を育み、看護におけるリーダー的素地と専門職業人としての基盤を備え、看護の発展及び人びとの保健医療福祉の向上に貢献する実践能力を有した看護職を育成する。

(2) 教育目的

本学部の教育理念の実現を目指し、豊かな人間性を培い、専門的知識・技術および高い倫理的判断力を身に付け、変動する社会の中で看護職としての役割と機能を認識し、広く社会に貢献できる実践的能力を備えた看護専門職の育成を目的とする。

(3) 教育目標

- ①リーダーシップと「惻隱の情」を持った職業人の養成
- ②根拠に基づいて基礎的な看護を実践する能力の養成
- ③看護を必要とする多様な場での多職種や地域と連携・協働する能力の養成
- ④薬剤による治療や予防を看護の視点でとらえる能力の養成

2 看護学部の3つの方針（ポリシー）

(1) 学位授与の方針（ディプロマポリシー）

看護学部は、保健・医療・福祉を取り巻く社会情勢に対応し、看護専門職者として人々の健康を支援するために、以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修めた者に対し学士（看護学）の学位を授与します。

①知識・態度

幅広い教養と看護の専門的知識を基盤に看護の責任と役割および自律性を認識し、看護職者として職業倫理に基づく良識ある看護を実践することができる。

②技能

あらゆる健康レベルの看護対象を理解し、薬物療法に関する正しい知識を用いて、科学的根拠に基づく基礎的な看護を実践することができる。

③保健医療福祉活動

多様な看護の場において多職種と連携・協働し、地域の保健・医療・福祉の課題に貢献することができる。

④調整力

看護の専門性と役割を認識した調整力を発揮するためのリーダー的能力の素地を身に付けている。

⑤自己研鑽

専門職業人として、医療の進歩や社会の動向を踏まえ、看護実践能力向上のために継続的に研鑽する基礎的能力を身に付けている。

(2) 教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）

本学は、本学の建学の精神「個性の伸展による人生練磨」を基本理念とし、以下の方針で教育課程を編成します。これら教育課程の実施にあたっては学生の能動的学修を促す授業を導入します。教養科目、専門科目およびその他必要とする科目を体系的に編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業を開講します。

- ①豊かな人間性と幅広い教養とリーダーシップ能力の素地を培うための教養・基礎分野の科目を配置する。
- ②看護の対象としての人間の健康と疾病を理解し、根拠に基づいた看護実践能力を育成するために専門支持分野、基礎看護学分野、専門実践分野の科目を配置する。
- ③看護専門職として多様な分野で多職種と連携協働する力を養うために、地域基盤教育科目、領域横断展開科目を配置する。
- ④看護の視点で薬物療法をとらえ専門的援助ができる能力を育成するために薬学に関する科目を配置する。
- ⑤将来にわたり継続的に看護を探究し、自己研鑽をしていくための基礎的能力を養うための看護統合分野の科目を配置する。
- ⑥保健師教育課程、助産師教育課程を履修できる選択科目を配置する。

(3) 入学者受入れの方針（アドミッションポリシー）

看護学部は本学の建学の精神を理解し、看護を通して地域社会に貢献できる、幅広い教養と豊かな人間性のある人材を育てることを目指します。そのために、以下に示す能力、意欲、適性を持った学生を受け入れることを基本として入学者選抜を行います。

- ①看護職者への明確な目的意識をもち、看護を通して地域医療に貢献しようという意欲を持っている。
- ②専門的知識・技術の修得に必要な基礎学力を有している。
- ③多様な人とコミュニケーションをとることができる。